

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消費者対策に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	7	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	334安心できる消費生活の推進	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	小学生を対象としたこども講座をはじめ、高校生や成人、高齢者など幅広い年齢層に対して「くらしの講座」を開催する。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	小・中学生を対象としたこども講座をはじめ、成人、高齢者など幅広い年齢層に対して「くらしの講座」を開催する。
②①に基づく取組み結果	小・中学生及び高齢者・一般向けの講座を計8回開催し、383人の参加があった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・市内事業者	意図(対象をどうするのか)	地域の消費者力を高める。
②事務事業の概要	悪質商法などからの被害の防止・救済及び自立した消費者の教育を通じ、消費者の利益擁護と消費生活の安定・向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年、消費生活の質や豊かさがうたわれ、新しい商品・サービスの多様化が進んでいる一方で少子高齢化が進み、高齢者を狙った悪質商法や、若年層のIT被害など、巧妙複雑な契約トラブルが増加している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	年間522件の消費生活相談を受け付けた。 消費生活講座を8回開催した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	消費生活相談件数	456	500	522	件	業務取得
	ii	くらしの講座参加人数	442	188	383	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	4,810	5,039	金額(千円)	内容	5,672		
国支出金(千円)			3,324	相談員報酬			
県支出金(千円)	3,251	3,449	1,108	非常勤職員賃金	3,938		
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	1,559	1,590			1,734		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	商品やサービスの多様化・複雑化に伴い、消費生活に関する疑問やトラブルが絶えない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	消費者被害の未然防止と救済、消費者の自立支援のために、消費者教育を推進し、今後も継続して強化していくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				